修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

倍増や校外活動にも

東京　秋川、羽村、立川など

【関東支局】修学旅行費の公費負担や補助制度は全国的にひろがりつつあるが、東京でも一昨年から秋川市が実費の約三分の二を、西多摩郡羽村町では小中学校とも全額を補助、さらに立川市でも諸物価の高騰に備えて昨年度の倍額を補助することを決めるなど都全域に修学旅行費の補助金制度はしだいにひろがってきた。

秋川市教委（杉田繁胤教育長）では小学校四校、中学校二校に対し修学旅行費の補助を一昨年度から実施している。

小学校は一人当り二千二百五十円、中学校一人当り一万円で小学校分百十万四千七百円、中学校は四百三十二万円で本年度の教育予算は小学校費七億二千二百三十二万九千円、中学校費四億五千三百七十九万円、計十一億一千七百六十万九千円となっている。来年度の修学旅行費補助はさらに増額し、父兄負担を軽くしたい方針である。

西多摩郡羽村町教委（渡辺吉之亮教育長）が修学旅行費の補助制度を実施してからことしで三年目。本年度は小学校一人当り五千円、中学校一人当り一万五千円で、いずれも全額負担。その予算額は小学校が二百二十一万六千円、中学校七百九十一万七千円となっている。同町には小学校四校、中学校二校がある。

同教委では近い将来、夏の林間、臨海などの校外活動も公費でおこないたいといっている。

渡辺吉之亮　二十七億円の教育長の話　教育予算規模だから修学旅行費補助はごくわずかだと思う。これは町当局の教育にたいする理解の深さを示すものだ。

……○……

立川市教委（砂川昌平教育長）は四十七年度から、小学校十八校、中学校六校に修学旅行費補を実施しているが、本年度は物価上昇に合わせて昨年の倍額以上とし、小学校一人当り二千八百円で計四百九十九万六千円、中学校一人当り六千五百五十円の計九百六十一万六千円を決めた。

同市では修学旅行費実費の三分の一補助を目安としているが将来は全額負担の方向で進んでいる。また、団体傷害保険料の一人当り五十円も市で負担している。なお同市の本年度教育予算額は小学校十四億六千五百七十九万四千円、中学校六億二千百二十八万四千円の計二十億八千七百七万八千円である。

修学旅行

補助金制度ひろがる

活動目標を決定

関修委総会ひらく

【関東支局】関東地区中学校修学旅行委員会の本年度総会は六月二十六日、群馬県伊香保町の福一旅館で開催した。

会長＝佐藤武男（茨城県中学校長会長・水戸市第二中学校長）副会長＝石井清二郎（群馬県中学校長会長・群馬県箕郷町箕郷中学校長）委員＝金子善吾（千葉県市川市第八中学校長）　酒井宝祐（千葉県松戸市第三中学校長）伊藤守（栃木県宇都宮市雀宮中学校長）栗木正（茨城県水戸市第三中学校長）桃田勝次（埼玉県北埼玉郡騎西中学校長）　椎原大三郎（群馬県沼田市沼田中学校長）　梅沢章（群馬県利根郡新治村新治中学校長）谷正久（群馬県渋川市古巻中学校長）、星野一夫（群馬県沼田市薄根中学校長）高田福松（埼玉県北葛飾郡幸手町幸手小学校長）介川容介（茨城県水戸市新荘小学校長）、全修協＝山本種一（理事長）、白滝末紀（事務局長）岩崎武夫（研究調査部長）諸氏のほか来賓として斉藤作次氏（元群馬県中学校長会長・関修委委員）も出席。

伊藤守連営委員の開会の辞につづいて佐藤武男会長は「修学旅行の教育的意義の認識と関心が高まり、その諸条件はしだいに改善されつつある。これは関修委や三地区修旅連絡協、さらには全修協の絶大なご支援、ご指導によるもので感謝にたえぬ。しかし修学旅行にはまだ解決にいたらぬ問題があまりにも多い。われわれはこの総会を機に、さらに決意をかためて関修委の活動を強化し、三地区修旅連絡協とともに所期の目的達成に努力しなければならない」と述べ、また、顧問の全修協理事長・山本種一氏は「関修委の熱意にあふれた活動ぶりには、つねづね敬意を表している。修学旅行が生徒の人間形成におよぼす力はきわめて大きく、いかなる時代にあっても、ゆたかな教育性、安全の確保父兄負担の軽減を目ざし、理想の修学旅行を実施するため私は全修協運動に一身をささげている。その意味では関修委、三地区修旅連絡協の先生がたは私の同志ともいえよう。全修協としてもこの運動に協力と支援をおしまない」と、あらましこのように挨拶した。

つづいて石坂・群馬県教育委員会義務教育課長、伊藤・前福市教育委員会教育長から寄せられた祝電が披露されたあと、来賓の元群馬県中学校長会長・斉藤作次氏は「関修委が発展し、着々と実績をあげていることに敬意を表したい。思えば十二、三年まえ、創設当時の関係者のひとりとして深い感慨を覚える。修学旅行育成のため今後のご活躍を切望する」と祝辞を述べた。

本年度の役員選出の結果、会長に佐藤武男氏（茨城県）を再任、運営委員長には桃田勝次氏（埼玉県）運営副委員長には伊藤守氏（栃木県）をそれぞれ決定、また佐藤会長から全修協理事長・山本種一氏を本年も顧問に推すことが提案され、満場一致で可決した。

再任の佐藤会長と新任の桃田運営委員長は「誠心誠意協力する覚悟であるから、ぜひみなさまのご協力を願いたい」と就任の挨拶があった。

つづいて「五月開催の三地区修旅連絡協では関修委が構成員としての重責を持つことが確認された」とその会議状況について経過報告が行われた。

協議にはいり「本年度の活動目標」では「輸送力増強の運動」として①五十一年度以降の新幹線専用列車を春季二本だてにすること②発地と東京間のつなぎ列車を確保増強すること。また「修学旅行費軽減の運動」では①へき地と要保護・準要保護家庭の子弟に対する補助金の増額②新幹線専用列車の特急料金の全額免除（現在五割引き）③引率教職員の旅費など全額公費支弁の要請などで、とくに①についての金額は、三地区修旅連絡協の決定をまつこととした。

さらに桃田運営委員長から「義務教育における修学旅行費は公費で負担すべきである。この運動もぜひ展開したい」と発言があり、これについては、さらに運営委員会で検討することになった。

「研究活動の推進」では①研究会を群馬県か埼玉県のいずれかで開く②現地視察研修会を十一月下旬か十二月上旬、関西方面で実施する③基本調査は三地区修旅連絡協の決定に基づいて行うなどを決定した。

「組織の強化と拡大」では①各県で委員が中心となり、関修委や三地区修旅連絡協の趣旨と内容について周知徹底させる②修学旅行新聞の普及をはかる、などを協議、各委員から活発な意見が出された。

最後に石井清二郎副会長から閉会の挨拶があり、午後五時すぎ総会を終了した。

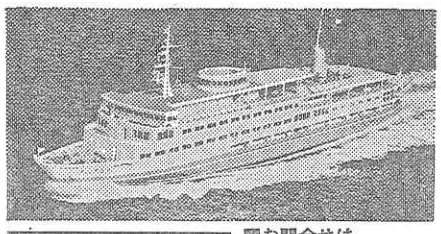
引きつづいて運営委員の打合わせ会を開き、五十年度新幹線専用列車の植付け調整を行なった。夜は新役員と前運営委員長・高田福松氏と前運営副委員長・介川容介氏の歓送迎会が行なわれ、午後九時すぎ閉会した。

風紋

「私は民族の交流ということを考えていたので、撮影や買物に夢中の日本人に聞いてみたが、〝「この国の人たち、民衆（ピープル）と交際してみませんか」〟と。答はきまっていました。〝とてもお相手する時間がないんですよ〟▼これは金沢の国際文化交流会議に、東南アジアから出席した人が、日本人の海外旅行、とくに商業化された集団観光旅行が、外国の人びとから異様な行動と見られていることの例証としてあげたものだ（六月二十七日付東京新聞）▼その国の、その土地に住む人びとの心の交流がなく、「日本」を風呂敷包みにして、世界中持ちあるくのは、役にたたない「旅」というだけでなく、とくに東南アジアでは有害な側面がでているという指摘があったという▼たくさんの費用と時間をかけての海外旅行が、民衆と民衆の交流の接点とならないものだろうかと思う。多くの障害点もあろうけれども、「ことば」が通じないことも、その大きい理由のひとつではなかろうか▼「ことば」のことで、考えさせられることは、日本人はどこからこの島国へ渡ってきて、どんなことばを持ってきたかということである。東南アジア、中央アジア地域には、日本語の祖形が数多くのこっているとのことだ▼安田徳太郎氏の万葉集の謎によると、「マレイ語で夫が妻を呼ぶとき（カーカ）といっているが、ジャワ語では（カカン）、スンダ語では（カカ）バッタク語では（ハハ）ダイヤ語では（カカ）あるいは（アカ）タガロク語では（カカ）となっている。このカカあるいはハハが日本のカカや母の祖形であると思う。」といっている▼万葉集、古事記、和名抄などの古典語の中に、レプチャ語一千五百、チベット語千、サンスクリット語五百もの日本語の祖形があるという▼昔、昔の大昔の人びとの心とことばで東南アジアの民衆との心の交流が持てないものであろうか。

KANSAI LINE

思い出の修学旅行
印象的な、瀬戸内海の船旅



●阪神—別府航路（毎日4便）
●阪神—小豆島・高松航路（毎日4便）ほか
●神戸—日向（宮崎）フェリー（隔日1便）

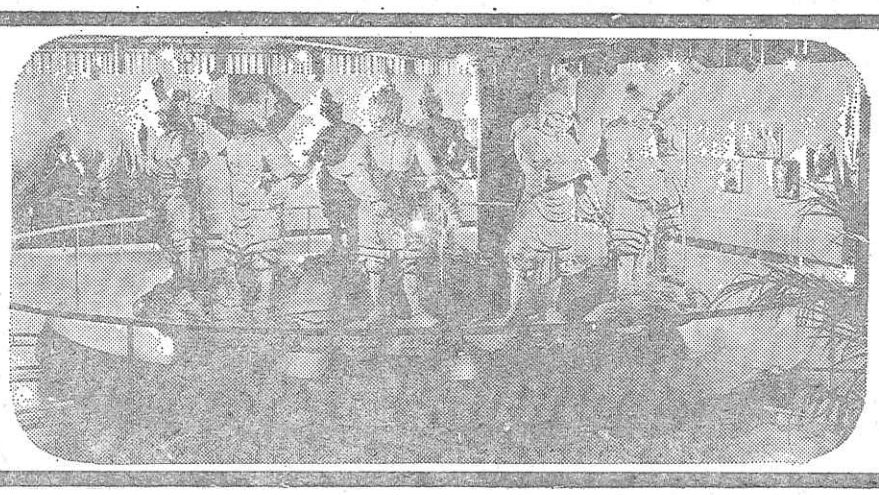
関西汽船
お問合せは
大阪市北区宗是町1（06）441—4100/東京都中央区八重洲1-9-9（03）281—2621
ほか関西汽船・関汽交通社各地営業所・各旅行あっ旋案内所へ

充実した修学旅行

ツーリストをお役立てください
ツーリストでは意義ある行事をさらに充実させるために、事前、または事後学習用として〝修学旅行映画〟シリーズを製作しております。
●修学旅行映画シリーズ
京都の庭園　富士箱根　日光　大和の国なか
大和の塔　火とみどりの国　瀬戸内海
みちのく　大和の道　大和の石　京都の川
（いずれも文部省選定、16ミリカラー、上映時間25～40分です）
電子計算機がおてつだいする　ひまわり窓口　「登録第20号」
近畿日本ツーリスト

大和路のすべてがひと目でわかる
奈良歴史教室
（近鉄奈良駅ビル内）

古墳・古建築・仏像などの模型や写真パネル・スライドで、大和路の歴史と観光見どころをダイジェストに展示し楽しく解説。縄文・弥生の昔から今日までの移り変りがひと目でわかる楽しい展示館です。
入場料…100円　こども50円
団体は割引（25人以上）…50円　こども30円
営業時間…平日10時～18時　日・祝日10時半～18時半
（月曜休館）
お問合せ…近鉄奈良駅ビル内
奈良歴史教室
〒630 奈良市東向中町28
☎（0742）24—3901



自然の中の心の休日
近鉄

最高の成績おさめて

研修旅行はじまる

教職員六千余名が参加

第十八回夏の教職員研修旅行は五月二十五日に五千名をかぞえ、六月末日でついに六千二百三十名にたっし、全コースとも満員となった。これは研修旅行開始いらい昭和四十五年の万国博開催時を除いて最高の好成績だった。

七月二十一日、上野発の「北海道Bコース」の東京団などを皮切りに十八コース、八十団がいっせいに旅立つ。

ことしの特徴は全国的に申し込みの時期が早かったことで、メーン・コースや特別コースは六月中旬で締切りを余儀なくされた。全修協本部では直ちに各コースとも定員の増加を実施会社に要請する一方、多数の申し込み者に待機を願ったほど。これは全修協の各都道府県支部や協力機関が春季研修旅行実施のときから周知かたを徹底、各学校などに積極的な活動をおこなったためである。

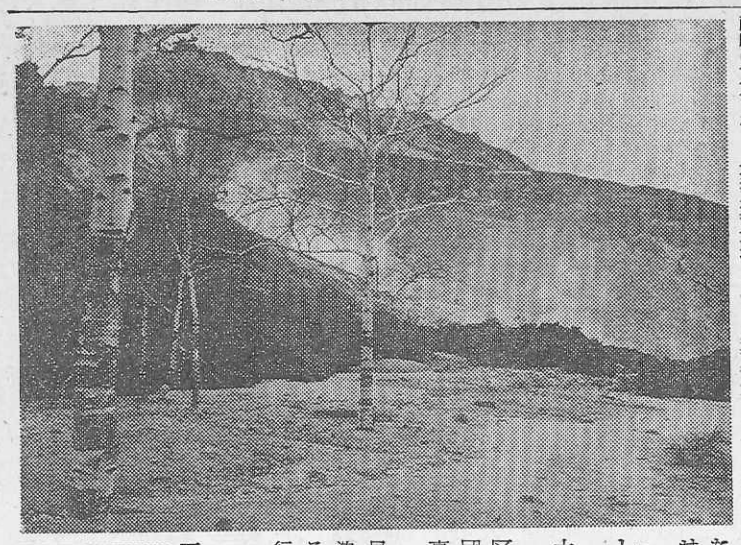
ぜひ研修旅行作品を

写真コンクール

北海道コース　知事賞、道観連賞も

研修旅行の参加者から毎年、ご好評を得ている写真コンクールを今回も全コースで実施します。北海道コースは〝北海道知事賞〟のほか昨年から北海道観光連盟が全面的に協力され、〝北海道観光連盟賞〟も加わっております。

旅のつれづれに写されたスナップ一枚でも、なかなか優秀な作品があるものです。どうぞふるってご応募くださるようお待ちしています。応募規定はつぎの通りです。



応募規定

▼応募資格　ことしの夏季研修旅行に参加されたかた。

▼画材　研修旅行中に撮影された作品で、点数には制限がありません。題材はご自由です。

▼サイズ　キャビネ以上。ただし組み写真はご遠慮ください。

▼締切り　昭和四十九年九月三十日。

▼送り先き　〒101東京都千代田区西神田二―八―七（幅ビル）財団法人・全国修学旅行研究協会写真コンクール係。

▼審査と発表　昭和四十九年十月下旬、厳正な審査のうえ入賞を決定し、直接ご本人にお知らせするとともに、協会発行の「修学旅行新聞」その他に発表します。

▼賞状と賞金、記念品

①推せん（一名）賞状と賞金一万円。

②特選（一名）賞状と賞金七千円。

③入選（五名）賞状と賞金三千円。

④佳作（二十名）賞状と記念品

▼北海道知事賞（一名）賞状と記念品。

▼北海道観光連盟賞（一名）賞状と記念品。

以上はカラー、白黒共通です。

ご注意＝

①参加者にお渡しした「研修旅行ガイド」二面に刷り込んである「応募票」を切り取り、それぞれご記入のうえ、作品の裏面にお貼りください。応募票が無いときは別の用紙でも結構です。おひとりで幾枚もご応募できます。

②応募作品の版権は当協会に属します。

③賞状、賞金（記念品）は該当作品のネガと引きかえにお送りします。

④応募作品およびネガはお返ししません。

昨年度・教職員研修旅行・写真コンクール入賞佳作・北海道コース「硫黄山」筏進治氏（大阪府堺市）

マリモを見やすく

北海道阿寒町で整備

阿寒湖を代表する観光資源のマリモをよく見てもらおうと阿寒町ではマリモ池を島の中央に移して整備する。阿寒湖のチュウルイ島には現在、人工池が二カ所設けられ、チュウルイ川の水を引いてマリモ約五百個を入れてあるが、大きな池は一日中、逆光線でマリモを見ることになり、しかも位置が低いため、かがみ込んで見なければならなかった。同町では工事費三百万円をかけ移設、整備することになったもので、新しい池は周囲を割り石でかこみ、丸太などで飾りつける。

駅の2階は博物館

湖西線・西大津駅

【大津】山科と近江塩津を結んで琵琶湖の西岸を走る国鉄湖西線は七月二十日開通するが、沿線は埋もれた文化財が多く、鉄道建設に当ってはとくに慎重を期した。なかでも力を入れたのは西大津駅付近の京あとで、県教委などの指導により、同所から縄文土器や古墳時代の住居跡も発見された。同公団は国鉄と協議、西大津駅の二階に出土品の展示場を特設することになった。

横顔

愛される人柄で

全修協青森県支部事務局長　伊藤喜蔵氏

★…温和な表情から東北弁が流れる。とつとつと語る言葉は少なくても、要所だけはきちんととらえる。ときどき交えるユーモアに微笑をさそわれる。なんていっても人柄のよさが誰からも好かれるゆえんだろう。

★…全修協青森県支部創立いらい支部長の盛田三喜雄氏の片腕として力量を発揮してきた。「修学旅行新聞」のニュースを取材して直ちに通報するあたりジャーナリストとしての面目も躍如。研修旅行は県教育厚生会と協力し手びろく活動、全国でも有力県にのしあげた功績は大きい。

★…小学校専科正教員から文検をめざし、中等教員になろうとしたが、結果的には挫折、せっかく入学した満州国立新京法政大学は終戦で自然退学の憂き目にあった。戦前県の教育課に勤務中、県教職員互助会の創立事務を担当、昭和十四年の冬に渡満し、特殊会社（公社）に勤め、戦後シベリアから帰還、二十三年春、解散寸前の県教育厚生会再建のため常務理事として起用され、いらい二十六年のあいだ重責をはたし、この一月退任、現在は同会の参与となった。全教互の副会長としても手腕をふるったほか、全修協支部の組織化も行い、現在常務理事と事務局長を兼任、全修協運動を続けている。

★…趣味は音楽と奇術。とくに奇術は教育界でも有名な特技だ。青森市教委の嘱託として少年団体育成指導委員と市民文化センターの講師をつとめ、幅ひろく走り回っている活動家。全修協が期待をかける一人である。六十歳。

中尊寺（岩手県平泉町）

嘉祥三年（八五〇）天台の高僧慈覚大師によって開かれたという。はじめは弘合寿院といい、この山が衣の関路であったとところから山号を関山と称したが、貞観元年（八五九）に清和天皇から中尊寺の号を賜わった。その後、堀河天皇の長治二年（一一〇五）藤原清衡に経営が一任され、二十一年後の天治三年（一一二六）に完成。堂塔四十余を算え、奥羽地方の仏教の中心地となった。現在の金色堂は昭和四十三年に復原されたもの。

中尊寺

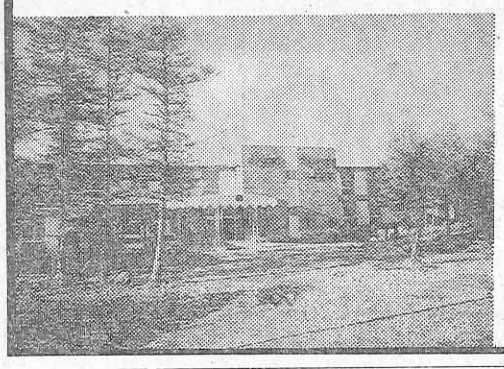
毛越寺（岩手県平泉町）

毛越寺（もうつうじ）も嘉祥三年、慈覚大師の開基になるもの。寺域約一三万に南大門、金堂円隆寺、嘉祥寺、講堂、常行堂、法華堂など、平安時代の代表伽藍のあとして有名。また、特別名勝指定の庭園は作庭当時の面影を伝え、池、中島、橋、築山、石組、やり水などいわゆる平安時代の典型的な〝浄土庭園〟である。一月二十日、常行堂の例祭に奉納の延年の舞は国と県指定の無形文化財である。

毛越寺

集印帖

■ひろがる緑の高原■そそりたつ日本アルプス連峰
■澄みきった空と湖

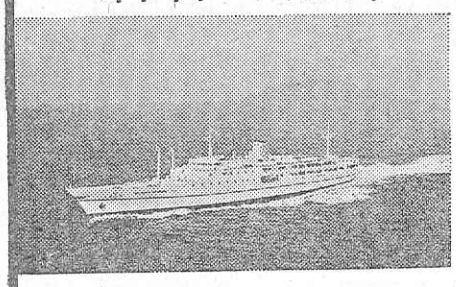


自然のなかのチロル風ホテル
〈修学旅行に最適〉
清風園
女神湖ホテル
長野県北佐久郡立科町芦田
TEL 026755－6006 〒384-23
案内所 ■東京03－844－1710・1801 ■中部0587－66－2121 ■名古屋052－962－0585 ■大阪06－304－1024

全国各地小中高校全90種
旅のしおり
■御校のコースにマッチした「しおり」が用意してあります。見本無料呈。
■北海道から九州まで，小学校から高校まで，あらゆる種別を用意。
■見学地図の裏に御校の「旅行要項」をお刷りしています。資料呈。
■修学旅行の資料ならなんでもおそろえします。ご照会ください。
修学旅行図書・資料出版　〒601 京都市南区西九条鳥居口町5（京都駅新幹線口の南西）
株式会社 教材研究所
電話・代表075-681-1591,2,3,4
振替・京都2539

修学旅行のメッカ本郷へ
安心して泊れる旅館
東京のお泊りは文教の地〝本郷〟で
環境・交通は修学旅行に最適です
近畿日本ツーリスト協定旅館連盟 東京支部本郷地区会員
経験で奉仕する
武蔵野館　文京館　ふたき旅館
平安荘　真成館　追分旅館
朝陽館本家　富士館　長栄旅館
本郷館本館別館　朝明館　春養館
日本学生会館　機山館
旅館かつら　旅館大正園
（順不同）

若者・紺青の海・純白の船



貸切専用純客船
ふじ（3,000トン）
にほん丸（3,000トン）
・スケジュール・コースはご自由に
・旅客定員 1,800名
・サロン・休憩室・医務室完備
・船内でのグループ活動・学習に最適
・全室エアコン完備
・一般客との混乗なし
大島運輸株式会社東京支店　東京都中央区日本橋通1－3－11 浅野ビル9F　TEL 03-273-8911